

# 令和3年版 環境白書 自然環境

コウノトリが舞う里づくりの推進



越前市農政課

## 越前市の豊かな自然

### 里地里山



サギソウ



ハッチョウトンボ



アベサンショウウオ

国内最大生息地

# 「コウノトリが舞う里づくり」の推進

構想(平成23年3月策定)、実施計画(平成24年3月策定)、戦略(平成24年12月策定)

目的: 「生きものと共生する越前市」づくり

方針: 3つの「S」 コウノトリ(Stork)の「S」



(1) 里地里山の保全再生 (SATOYAMA Initiative)

現代の暮らしと調和した、コウノトリも住める豊かな里地里山をつくります。

(2) 環境調和型農業の推進と農産物のブランド化 (Sales promotions)

コウノトリをシンボルとした「安全、安心」「生きものとの共生を目指す」越前市ブランドを確立します。

(3) 学びあいと交流 (Study and communication)

環境教育を通し、里地里山の自然と文化を守り、伝える人を育てます。

いのちのつながりと尊さを学ぶ場をつくります。



令和2年度～ 食と農の創造ビジョンに統合し推進

3

## コウノトリの特徴

簡単に言うと...

里に棲む大きくて優雅な鳥

コウノトリ(*Ciconia boyciana*)

分布	中国やロシアを中心に分布
翼開長	約2m
体重	4~5kg
食性	肉食
餌生物	ドジョウ、フナ、昆虫など
習性	成鳥は鳴かずクチバシを打ち鳴らし音を出すクラッタリングを行う。
生息数	世界で約3000羽
その他	国の特別天然記念物



日本の野生個体群は絶滅し、野生復帰が行われている。

4

# 物語

Story

5



昭和32年～39年：矢船町でコウノトリが営巣

6



7



*Photo by T. Hayashi*

昭和45年：黒川町にくちばしの折れたコウノトリが飛来

8



昭和46年：「武生(コウちゃん)」のためにドジョウを集める子供たち

9



昭和46年：豊岡に移送されるため保護された「武生」

10



平成22年4月1日：白山地区2羽のコウノトリが飛来うち1羽が長期滞在

11

## 平成22年4月1日 白山地区にコウノトリ2羽が飛来

1羽が王子保地区で107日間滞在

●市は名前を公募し、499件の中から「えっちゃん」に決定

→「えっちゃん」に特別住民票も発行！

以後、12年連続(平成22年～令和3年)でコウノトリが飛来！



越前市に長期滞在した  
「えっちゃん」



巣作りする2羽のコウノトリ

12

## 今、白山地区で行われていること

福井県と兵庫県が行うコウノトリの  
飼育・繁殖及び野生復帰に向けた試験

なぜ？

- 兵庫県以外の個体群の復活
- 感染症などのリスクの軽減 etc.



13



平成23年12月10日～ 白山地区でコウノトリ飼育開始

14

## 2014年～ コウノトリ ひな誕生



15

## コウノトリ大空に舞う (平成29年10月8日:放鳥式)



- ・平成23年12月 **福井県が越前市でコウノトリの飼育を開始**
- ・平成26年 6月 **兵庫県から譲り受けた3個の有精卵を托卵、全て孵化**
- ・平成27年10月 **うち2羽を放鳥**
- ・平成28年 5月 **兵庫県から譲り受けた3個の有精卵を托卵、うち2羽孵化**
- ・平成28年 9月 **2羽を放鳥**
- ・平成29年 5月 **兵庫県から譲り受けた3個の有精卵を托卵、全て孵化**
- ・平成29年10月 **うち2羽を放鳥**
- ・平成30年 4月 **飼育コウノトリが4個の有精卵を産卵、全て孵化**
- ・平成30年 9月 **3羽を放鳥**

16

# コウノトリが舞う里づくりの成果

平成22年4月1日 白山地区にコウノトリ2羽が飛来

1羽が王子保地区で107日間滞在、市は名前を公募し「えっちゃん」に決定！

以後、12年連続(平成22～令和3年)でコウノトリが飛来！

平成29年2～3月に野外コウノトリが白山地区で産卵！県内で51年振り！

平成30年4月に飼育コウノトリが産卵！4羽孵化！

県内で産まれた卵から雛が誕生したのは54年振り！

同年5月に野外コウノトリが王子保地区で産卵！

平成31年3～4月に2組の野外コウノトリが白山地区で産卵！5月に3羽のひな誕生！

県内で野外のコウノトリから雛が誕生したのは55年振り！

令和2年6～7月に野外コウノトリが白山地区から4羽の巣立ちが実現！越前市初！

令和3年6～7月に2年連続4羽の巣立ち。坂口地区で初めての巣立ちが実現！



越前市に長期滞在した  
「えっちゃん」



野外で産卵、孵化した  
「たからくん」と「みやび」のペア



県内で55年ぶり誕生したひなと「たからくん」  
令和元年5月13日確認  
(写真提供 古木 仁さん)

17

## 令和2年4月 安養寺町

### 2年連続野外コウノトリのひな誕生。順調に成長



さーくん (J0301) やまちゃん (J0301) しらくん (J0299) あーちゃん (J0302)

18

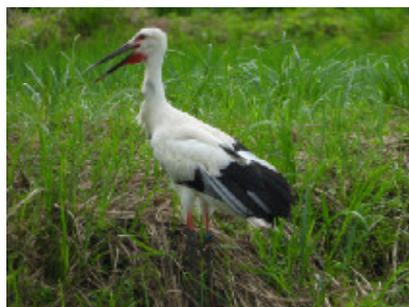
# 令和3年度は2年連続の巣立ち 下中津原町でも巣立ち

●安養寺町の巣塔では、2年連続となる1羽の巣立ちが実現  
愛称「春花(しゅんか)ちゃん」 J0344 メス

●下中津原町の巣塔では、3羽の巣立ちが実現(坂口地区では初)  
愛称「みそらちゃん」 J0378 メス、「みどりちゃん」 J0379 メス、  
「おうひちゃん」 J0380 メス



「春花ちゃん(左)」と  
親鳥「みやび(右)」



「みどりちゃん」



「おうひちゃん」

19



昭和45年にコウちゃんが飛来して50年。  
地域住民の熱心な取組みが実を結ぶ

20

# 「コウノトリが舞う里づくり」の推進

構想(平成23年3月策定)、実施計画(平成24年3月策定)、戦略(平成24年12月策定)

目的: 「生きものと共生する越前市」づくり

方針: 3つの「S」 コウノトリ(Stork)の「S」



(1) 里地里山の保全再生 (SATOYAMA Initiative)

現代の暮らしと調和した、コウノトリも住める豊かな里地里山をつくります。

(2) 環境調和型農業の推進と農産物のブランド化 (Sales promotions)

コウノトリをシンボルとした「安全、安心」「生きものとの共生を目指す」越前市ブランドを確立します。

(3) 学びあいと交流 (Study and communication)

環境教育を通し、里地里山の自然と文化を守り、伝える人を育てます。

いのちのつながりと尊さを学ぶ場をつくります。



令和2年度～ 食と農の創造ビジョンに統合し推進

21

## (1) 里地里山の保全再生①

コウノトリも生息し続けられる環境(休耕田ビオトープ)

生きものの生息場となるビオトープづくり



休耕田ビオトープの整備  
9.3ha(令和2年度末実績)

22

## (1) 里地里山の保全再生②

コウノトリも生息し続けられる環境(水田魚道)



水田魚道の整備 22箇所  
(令和2年度末実績)

23

## (1) 里地里山の保全再生③

コウノトリも生息し続けられる環境(水田退避溝)



水田退避溝の整備  
38. 8a(令和2年度末実績)

24

# (1) 里地里山の保全再生④

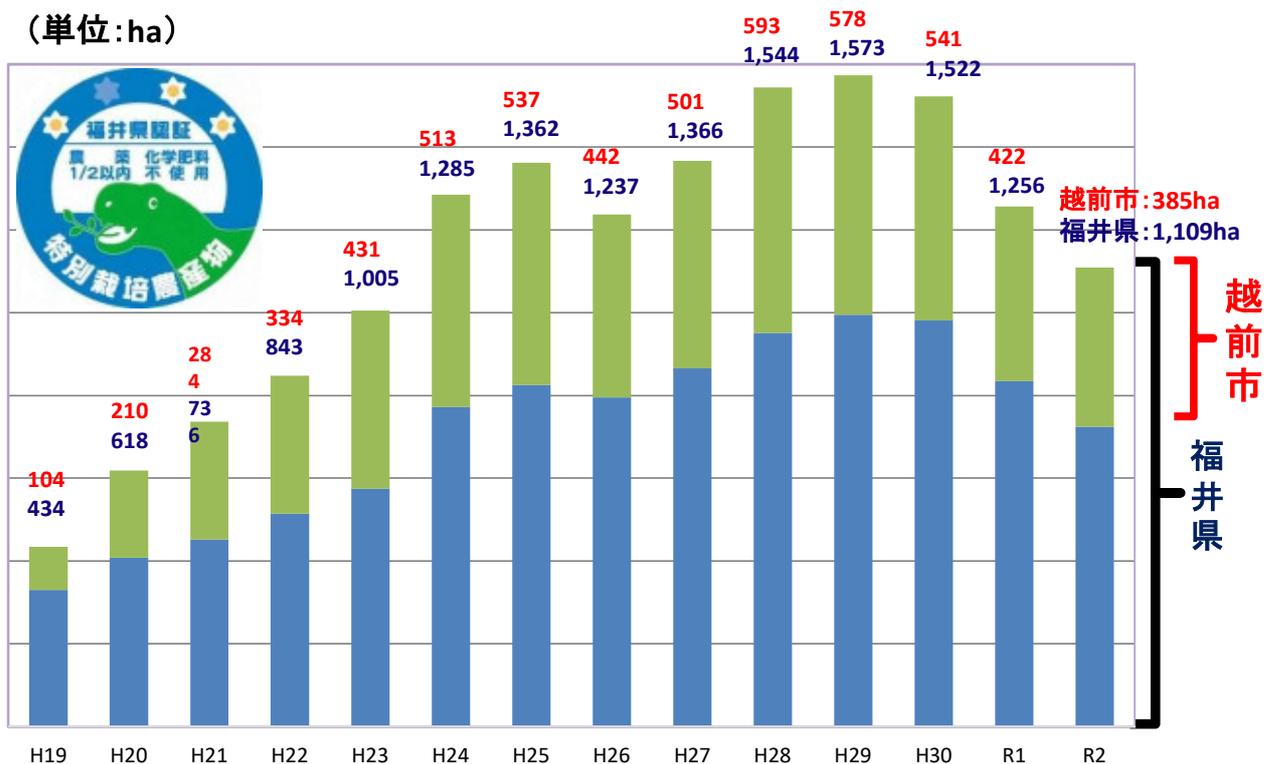
コウノトリも生息し続けられる環境(希少野生生物の保全活動)



## 環境調和型農業の推進①

県内の特別栽培米作付面積の約35%を越前市が占める

(単位: ha)



## (2) 環境調和型農業の推進②(農産物のブランド化)

コウノトリ呼び戻す農法米



加工



販売価格 約850円/1kg  
(通常のお米 420円/1kg) ※精米価格

27

## コウノトリ呼び戻す農法部会

- 平成21年「コウノトリ呼び戻す農法部会」が発足  
コウノトリをシンボルに安全・安心な米作りを行う
- 人と生き物に優しい**無農薬・無化学肥料栽培を推進!**



28

## (2) 環境調和型農業の推進③

### 冬期湛水

●福井県 238ha

●越前市 81ha

**県全体の34%**

### 中干延期

●福井県 243ha

●越前市 177ha

**県全体の73%**

《令和2年度》

「令和2年度環境保全型農業直接支払交付金の全国取組み面積」  
福井県 全国10番目 2,055ha（北海道を除く）



全国トップクラスで環境調和型農業に取り組む福井県の中で、  
**越前市は環境調和型農業の中心**

29

## (3) 学びあいと交流①

コウノトリが舞う里づくり大作戦（令和2年度）



WEB会議の様子

会場の様子(コウノトリPR館)



30

## (3) 学びあいと交流②

